

新たな成長に挑む 岐阜県産業界



岐阜県工業会 河合進一 会長
(河合石灰工業社長)

景況は、モノが動き出し、特に輸出産業との関連企業は業績が良い。しかし国内市場は原材料高、エネルギーコスト高で、価格未だ不明だ。

転嫁の可否は今後の交渉次第、円高有多少は正しされながら海外製品とのコスト比較も続く。国内全体でデフレ脱却ができるかはまだ不明だ。

日本の製造業の今後をどう見ますか。

「日本の大手製造業が現地生産を進め、下請けの現地生産も進んでいく。日本企業の世界レベルでの生産量は増えているが、国内では基本的に増えない。これが世間で騒がれるほど景況感を実感できない理由だ。かつては日本のお客だった電子部品の輸入が増え、燃料並んで国際収支赤字の要因になったのは象徴的。ショックだった」とこの状況じう対処す

岐阜県工業会 河合進一 会長に聞く



太平洋工業のTPMSの生産風景

次世代技術に布石

イヒテインはFVSSなど呼ばれるタイプを中心、携帯端末用高密度

体制を強化している。マ

レーシア工場(ベナン

州)ではFVSS対応

の第2工場を9月に稼働

させ、月産能力を従来

の2倍の8万平方メ

トリ上げる。さらに中国

北京市のプリント配線

板工場でも、第1工場

が生産できるよう20

15年3月期中に更新す

FVSSは導通穴(ビ

ア)を銅メッシュ埋め設

チ)プリント配線板(FV

S)の生産拠点を2カ所に

してリスク分散効率化

を進めることにより、全体

の生産能力も高める。携

帯電話の高速無線通信規

格「LTE」の普及に対

応する戦略だ。

日本経済は長いトンネルを抜け、景況感にも明るさが見え始めている。とはいえ経済活動のグローバル化の流れは留まっている。長期的に見れば、日本の製造業が空洞化する懸念は未だ払拭されていない。日本経済を本格的な回復の軌道に乗せ、さらに発展させるため、今後の成長のけん引役となる新たな技術やビジネスの登場が期待されている。岐阜県の産業界でも次の飛躍に向けた挑戦が始まっている。



セイノーホールディングスの委託先が建設する物流センターの完成予想図

現地化で対応強化

太平洋工業は上海市などがある中国華東地区に直接式タイヤ空気圧監視

システム(TPMS)の製造子会社を9月をめどに設立する。中国を中心としたアジア市場への供給拠点は日本、米国に次いで3カ国目。

新会社は年間生産能力500万個を目指し、投資額は1億円。TPMSはタイヤに各1個装着し、空気圧を検出してデータを無線で車体本体に送信し、安全性や低燃費

国際化対応を後押し

に貢献する。現在は日本で年間150万個を生産。中国には日本から輸出している。現地生産化を進めることで急拡大する中国・アジアの自動車市場への対応力を高め

る。Z。P.P.P.は、日本国内の物流を含め、日本国内の最寄り港・釜山港ルートを活用し日本での陸送コストを抑える。さらに釜山港内で保管や材料加工もし付加価値を高め、関税も軽減する。セイノーホールディングスの委託先が建設する物流センターラーに釜山港内で組み合わせるのが特徴。きめ細かい物流サービスでグローバル化に対応する日本の企業界に貢献する考えだ。

ホットなサービスをお届けするOKB 大垣共立銀行

取締役頭取 土屋 勝

大垣市郭町三丁目98番地 0584-74-2111(代表)

セイノーホールディングスは韓国釜山港を経由することで物流費用を抑え、保管・加工業者も付帯サービスを委託する大型倉庫が好調だ。釜山港内で保管プロジェクト(PPP)は同港内でエリア

初期の冷蔵・冷冻施設も

備えられる2号物流センター

が好調だ。釜山港内で保

庫は稼働率が90%以上。

委託先は同港内でエリア

も14年内に稼働する計画

で、PPPはより充実す

る。大垣、長崎、沖縄、から世界マーケットへ特殊技術で大気汚染の浄化へ貢献

大垣精工株式会社
株式会社セイコーエンジニアリング

代表取締役 上田 勝 弘
本社・工場 大垣市浅西3丁目92-1(名神大垣ICより車で3分)
TEL(0584) 89-5811 FAX(0584) 89-5545
URL http://www.okagiseiko.co.jp E-mail:tosik@okagiseiko.co.jp
長崎工場 長崎県東彼杵郡東彼杵町八反田郷字胡摩原57-30
TEL(0957) 47-1901 FAX(0957) 47-1902
沖縄工場 沖縄県うるま市勝連南風原5192-3-30
TEL(098) 989-6640 FAX(098) 989-6641
輪之内工場 岐阜県安八郡輪之内町福東字上沼1198番1
TEL(0584) 69-5675 FAX(0584) 69-5676

行政に期待 中小に支援を

（河合）景況は、モノが動き出し、特に輸出産業との関連企業は業績が良い。しかし国内市場は原材料高、エネ

ルギーコスト高で、価格未だ不明だ。

（河合）日本の製造業の今後をどう見ますか。

（河合）転嫁の可否は今後の交渉次第、円高有多少は正しされながら海外製品とのコスト比較も続く。国内全体でデフレ脱却ができるかはまだ不明だ。

（河合）日本の製造業が現地生産を進め、下請けの現地生産も進んでいく。日本企業の世界レベルでの生産量は増えているが、国内では基本的に増えない。これが世間で騒がれるほど景況感を実感できない理由だ。かつては日本のお客だった電子部品の輸入が増え、燃料並んで国際収支赤字の要因になったのは象徴的。ショックだった。

（河合）この状況じう対処す

（河合）日本のお客だった電子部品の輸入が増え、燃料並んで国際収支赤字の要因になつたのは象徴的。河合：必ずしもハイテクである必要はないが、他国に真似できない製品づくらが盛況でした。

（河合）品質や繊細な

（河合）日本のお客だった電子部品の輸入が増え、燃料並んで国際収支赤字の要因になつたのは象徴的。河合：必ずしもハイテクである必要はないが、他国に真似できない製品づくらが盛況でした。

（河合）日本のお客だった電子部品の輸入が増え、燃料並んで国際収支赤字の要因になつたのは象徴的。河合：必ずしもハイテクである必要はないが、他国に真似できない製品づくらが盛況でした